

豚熱の発生予防対策に係る国(疫学調査チーム)の提言

令和3年1月15日、山形県、三重県のワクチン接種農場での豚熱の発生を受け、国の拡大豚熱疫学調査チームにより、豚熱ワクチン接種農場における今後の発生予防対策について提言がありました。

●掲載先：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/domestic.html>

◇提言の概要

ワクチンを適切に使用しても十分に免疫を獲得できない豚が一定数存在することは避けられません。
こうした感受性のある豚が豚熱ウイルスに感染することを完全に防ぐことはできません。
そのため、ウイルスの農場への侵入防止措置を一層徹底する必要があります。

◇提言された具体的な発生予防対策

1 野生動物の侵入防止対策・車両進入時の衛生対策

- 防護柵の設置徹底
- 消毒ゲートや消石灰帯では、タイヤの溝等に土壌が残っている場合などは十分な効果が期待できない→動力噴霧機による消毒を行う必要あり

2 作業着、手袋及び長靴の交換(交差汚染防止)

農場への機械的持込みを防ぐため、着衣の交換や交換前後の作業動線を遮断

3 免疫を獲得していない豚への対応

ワクチン接種前の離乳豚などについては飼養衛生管理を一層徹底

4 敷料の衛生対策

敷料は豚舎内に持ち込むため、保管時は野生動物や野鳥の接触がないようブルーシートや建屋で覆う。

5 消毒液の選択・交換

逆性石けんは低温条件で消毒効果が激減するため、消毒効果が十分に得られる薬剤・方法を選択

必要に応じて、管理獣医師や家畜保健衛生所に御相談ください。

●消毒方法参照先：https://jlia.lin.gr.jp/eiseis/pdf/disinfect_handbook.pdf

飼養衛生管理基準 全国講習会が開催されます！

令和3年2月5日(金) 13:00~15:40 YouTube Liveにて生配信されますので
(<https://www.youtube.com/watch?v=pJtfNSpx4xc&feature=youtu.be>)
ぜひ御参加ください。

飼養豚に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

県央家畜保健衛生所	宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200	FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)
県南家畜保健衛生所	栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611	FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)
県北家畜保健衛生所	那須塩原市千本松800-3
TEL:0287(36)0314	FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)